

混合物の品質管理へ 総合的に調査・検討

日合協が技術委

日本アスファルト合材協会

技術委員会（委員長・守安弘

周前田道路常務執行役員）は
10日、仙台市のホテルメトロ
ポリタン仙台で2025年度
全国技術委員長会議を開き、
写真、アスファルト混合物の
品質管理の総合的な調査・検
討などを柱とする26年度事業
計画を決めた。

守安委員長は、24年度のア



スファルト合材製造数量が前
年度を2・3%下回る355
0万トと過去最少を更新した
ことを踏まえ、「資材・労務

・物流のコストが高止まりし、
担い手不足と技能者の高齢化
などの構造的課題が深刻化す
る中、経営環境は厳しさを増
している。皆さまの経営努力
を支えるため、環境につなが
る技術を蓄積し、未来への備
えを続けたい」と語った。

26年度事業計画は、▽脱炭
素につながる新たなアスファ
ルト混合物や材料・燃料、合
材工場製造装置の調査・検討
▽発生材の再生改質と再々生
▽社会構造の変化に対応した
アスファルト混合物再生利用

技術についての共同研究▽中
温化混合物の製造・施工の調
査研究▽道路舗装の力学的理
論設計方法の実用化に関する
共同研究―などに取り組
む。

このほか、遠西智次出光興
産機能舗装材事業部営業企画
課担当マネージャーが「舗装
用アスファルトの供給体制と
物流課題について」と題して
特別講演したほか、東北地区、
日合協それぞれの活動報告を
踏まえ、各県技術委員長と意
見を交わした。

